

ムッシュかまやつ

KEEP ON

Memorial Night

2020 **3/1** sun

会場：原宿クロコダイル

開演：19:00 / チャージ：3,000円

予約：03-3499-5205



SPIDERS NIGHT

日本のロックバンド創世はスパイダースにあり。ソングライターとしてスパイダースに数多くのオリジナル曲を書き下ろしたムッシュ。

フリフリ、ノーノーボーイ、バンバンバン、あの時君は若かった、なんとなくなんとなく…… 70年代、ムッシュのサポートバンドとして一緒にステージを駆け抜けてきたオレンジとその仲間たちが、ムッシュの命日である3月1日に、スパイダースの名曲で哀悼の意を捧げる。

【出演】 オレンジ with フレンズ

Guest ザ・コンパノスパイダース

Special Guest 加藤 充 (Ex ザ・スパイダース)

TARO かまやつ

オレンジ with フレンズ

横内 TAKE 健亨 (Vo.G)、石井治郎 (B)、富岡GRICO 義広 (Dr.Per)
浅野良治 (Dr)、水谷啓二 (Vo.Sax)、小松三郎 (G)、TAD 前田 (Vo.G)

1970年にスパイダース解散後、ムッシュが1971年にアラン・メリルとテンプターズの大口広と結成したウォッカコリンズにベースで参加していた横内健亨が、アランが脱退後、活動停止になったウォッカコリンズに代り、ベースに石井治郎、ゴダイゴの初代ドラマー浅野良治、フラワートラベリングバンドの弟バンドにいた小松三郎の4人でムッシュバンドを結成し、1972年からムッシュのバックバンドとして活動。1973年に日本テレビの「キンキン&ムッシュのザ・チャレンジ」を機に小松三郎に替わって後にソロデビューする山本達彦がキーボードで参加し、バンド名を「オレンジ」とムッシュが命名した。

1974年から1975年にかけてムッシュの全国ツアー、郡山ワンステップフェスティバル、年末のニューイヤーズロックフェスティバル等をサポートし、山本達彦が脱退後は、「FLAT OUT」とバンド名を改名し、キーボードに森村献、武部聡志、ギターにTAD 前田、丹波博之、サクソで水谷啓二が参加。ドラムの浅野良治が脱退後は、伍代義秀彦、富岡義広が参加。

1978年の「ファーストライブ」から「スタジオムッシュ」、1979年の「バイナッブルの彼方へ」は全曲アレンジ、演奏を担当した。2009年の「1939 MONSIEUR」にも参加している。晩年のライブもサポートし、スパイダース以降、ムッシュと一帯多くのステージを一掃したメンバーたちがオレンジ with フレンズとして集合した。

ザ・コンパノスパイダース

スパイダースのトリビュートバンド。スパイダースをこよなく愛するメンバー5人が集まって結成された。リーダーが収集するスパイダースコレクションを情報源に、ステージはグループサンズ全盛時代の当時のジャズ喫茶を再現。古き良き日のスパイダースをこの時代に届けてくれる。今回のギグにはハチャアキ (Vo.Tamb)、オイリー北川 (Vo.G)、キャンティ横川 (Dr) の3名が参加。

加藤 充

通称「カッベちゃん」。毎年86歳。ザ・スパイダースのベーシストとして活躍した伝説のミュージシャン。

数多くのセッションを行い、1971年のムッシュのセカンドアルバム『どうにかなるさ アルバム No.2』では全曲ベースを担当。

近年はGS仲間たちとのジョイントライブを行う中で、かっぺちゃんオールスターズを結成し音楽活動を続けている。

TARO かまやつ (ピアニストシンガーソングライター)

かまやつひろしの長男。音楽一家に生まれ、3歳よりクラシックピアノ、音楽理論、作曲法を日本を代表する作曲家で「題名のない音楽会」の司会でも有名な故・黛敏郎氏に師事。現在もこよなく愛するショパンやドビュッシーの演奏も幼い頃よりマスターし、6歳より作曲開始。

2006年5月シングル「風のわだち」でデビュー。9月アルバム「ピアノマンの時(うた)」をリリース。ソロライブ活動、全国のイベント出演、他アーティストとのコラボレーションライブなどを行っている。